

平成30年度 Extra 2 応用動物科学セミナー

発生工学・ゲノム編集による 遺伝子組換え動物作出と 栄養学研究への応用

- 14:00 – 開会挨拶
- 14:05 – 14:40 発生工学による遺伝子改変マウスの作出と農産物由来成分の機能性評価への応用
角田 茂 (東京大学大学院農学生命科学研究科 獣医学専攻)
- 14:40 – 15:15 生体イメージングによる食シグナルの可視化解析
安達 貴弘 (東京医科歯科大学難治疾患研究所)
- 15:15 – 15:50 遺伝子改変ラットがもたらす食品・栄養学研究の新たな可能性
IL-17ファミリーの役割
豊島 由香 (日本医科大学先端医学研究所)
- 15:50 – 16:25 胚の体外操作を要しないゲノム編集動物作製法GONADの開発と応用
大塚 正人 (東海大学医学部)
- 16:25 – 閉会挨拶

● 11月9日(金) 14:00 ~ 16:30 FS棟中島董一郎記念ホール

● 本講演は東京大学大学院農学生命科学研究科若手を中心とする消化管研究グループ(GR-GUT)によるシンポジウムとして行われるものですが、担当教員の厚意により本専攻の学生にも公開するものです。「動物科学のフロンティア」の講義としてはカウントしませんので、レポート提出の必要はありません。

● 問い合わせ 先：獣医学専攻実験動物学教室 角田 茂 准教授

☎ 03-5841-5037

✉ akakuta@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp